

みなとからの風

〒231-8682 横浜市中区新山下3-12-1 / TEL 045-628-6100(代)

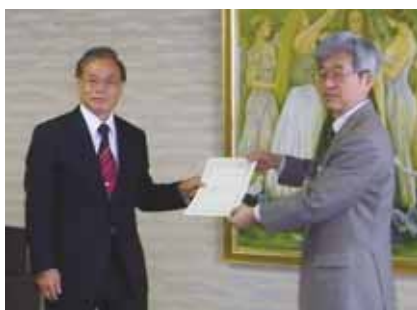
<http://www.yokohama.jrc.or.jp/>

●発行：2012年5月 医療連携センター

Contents

- がんセンターの開設にあたって …… 1
- 新任医師のご紹介 …… 2
- 産婦人科・整形外科のご紹介 …… 5
- CT・MRIの時間外対応の開始について …… 6
- 第2回みなと市民セミナー …… 6
- みなとモーニングセミナー …… 6
- 病院機能評価Ver.6の更新 …… 6

がんセンターの開設にあたって



認定証を受け取る 四宮院長 (左)



がんなどの悪性腫瘍は我が国の死亡原因の第一位であり、全死亡の約三分の一を占めるに至っております。

このような状況において、「がん対策基本法」が施行され、がん診療体制の一層の整備が進められつつあります。

横浜市立みなと赤十字病院では、診療科単位の縦割りの「がん診療」ではなく、患者さん中心の全診療科、看護、薬剤、コメディカルなど、それぞれの専門職種による質の高い、横断的なチーム医療を推進するべく、「がんセンター」を開設いたしました。

具体的には、昨年7月に「がんセンター立ち上げworking team」を編成し、「がんセンター」設立の目的、組織、運営方針、がんセンター運営委員会規定などにつき、討議を重ねました。その結果、図の「がんセンター組織図」を作成しました。

「がんセンター」の重要な柱として、患者さんからのご相談、ご質問を受ける窓口である「がん相談支援センター」を「医療連携センター」内に設置しました。また、「医療連携センター」を通じて、地域の医師会、訪問看護ステーションと密接に連携して、病院から、ご自宅近くのクリニックそして家庭まで、切れ目のない充実した「がん診療」を提供できる体制を構築します。

更に、「がんセンター」には欠かせない、「放射線診断・治療部」、「化学療法センター」、「緩和ケアセンター」の各部門を配置しております。今年度は診断能力向上のためにPET/CTを導入



がんセンター長
阿部 哲夫

し、また「がん治療」の一層の推進のために「化学療法センター」を24床に増設いたします。

一方、「緩和ケアセンター」では今年も院内・院外の医師の緩和ケア能力向上のために「緩和ケア研修会」を開催いたします。また、緩和ケアチームの活動、緩和ケア病棟（25床）の運営についても、更に質の向上を

図ります。

「教育研修部」は「がん診療」を担当するスタッフの能力向上と質の高い「がん診療」提供のために重要な部署で、適切な研修会、講演会を定期的で開催いたします。既に、昨年11月には「がんセンター」開設記念講演会として東京慈恵会医科大学教授の内田賢先生に「変わりゆく乳がんの診断と治療」の講演をお願いしました。

幸いなことに、各方面からのご支援により、この4月に当院は「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けました。今後は当院「がんセンター」の一層の充実を図り、がん診断治療能力の更なる向上を目指します。その一つの指標ともなる当院の「がん診療実績」、「治療成績」は「院内がん登録」を通じてデータを公表し、ご評価いただけるようにいたします。

今後とも一層のご指導ご支援の程、宜しく願います。

